

合同会社網走バイオマス第 2, 3 発電所に対するシンジケーション方式での 「グリーンローン」契約の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、本日、合同会社網走バイオマス第 2 発電所および合同会社網走バイオマス第 3 発電所（以下「本事業会社」）との間で、シンジケーション方式によるグリーンローン（以下「本件」）のアレンジャーに就任し、融資契約を締結しました。

本事業会社は、北海道網走市において木質バイオマス発電所の建設および運営を目的とし（以下「本事業」）、石油資源開発株式会社・三菱ガス化学株式会社・SMFL みらいパートナーズ株式会社・株式会社東京エネシス・株式会社 WIND-SMILE・日本製紙木材株式会社の 6 社が出資した会社であり、第 2 発電所は 2022 年 8 月、第 3 発電所は 2023 年 2 月の運転開始を予定しています。

本件の融資対象となる網走バイオマス第 2, 3 発電所は、発電燃料に北海道産の間伐由来材料や製材端材由来の国内材木質チップを 100%使用する、2 機合計出力 19,800 キロワットのバイオマス発電所で、年間約 84,831 トンの CO2 削減効果と共に、森林の持続可能性や地元経済への貢献も期待されています。

また、昨今の脱炭素社会への移行に向けた世界的潮流を踏まえ、今後も国内外において再生可能エネルギーの普及拡大が見込まれるなか、本事業は、わが国が目指す「2050 年カーボンニュートラル」実現への貢献の観点からも、社会的意義の高い事業です。

みずほ銀行は、本事業会社による環境への取り組みを評価し、ファイナンス面からサポートするため、グリーンローンの活用を提案し、契約を締結しました。

本件は、株式会社格付投資情報センター（R&I）から、「グリーンローン原則」（※）に準拠している旨の第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

＜本件の概要①＞

融 資 先：合同会社網走バイオマス第 2 発電所

金 額：57 億円

資 金 使 途：プロジェクト資金

契約締結日：2022 年 6 月 27 日

実 行 日：2022 年 6 月 30 日

契 約 期 間：15 年 3 ヶ月

アレンジャー：株式会社みずほ銀行

スポンサー：石油資源開発株式会社、三菱ガス化学株式会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社、株式会社東京エネシス、株式会社 WIND-SMILE、日本製紙木材株式会社

貸 付 人：株式会社みずほ銀行、日本生命保険相互会社、株式会社滋賀銀行、株式会社秋田銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社みちのく銀行、株式会社中国銀行、株式会社南都銀行、株式会社七十七銀行

＜本件の概要②＞

融 資 先：合同会社網走バイオマス第 3 発電所

金 額：54 億円

資 金 使 途：プロジェクト資金

契約締結日：2022 年 6 月 27 日

実 行 日：2022 年 6 月 30 日

契 約 期 間：15 年 3 ヶ月

アレンジャー：株式会社みずほ銀行

スポンサー：石油資源開発株式会社、三菱ガス化学株式会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社、株式会社東京エネシス、株式会社 WIND-SMILE、日本製紙木材株式会社

貸 付 人：株式会社みずほ銀行、日本生命保険相互会社、株式会社滋賀銀行、株式会社秋田銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社みちのく銀行、株式会社中国銀行、株式会社南都銀行、株式会社七十七銀行

（※）グリーンローン原則：

英 Loan Market Association(LMA)と香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association(APLMA)が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月には米 The Loan Syndication and Trading Association(LSTA)も参画。